

本町の防災対策について問う

防災マップの見直しと戸別受信機の全世帯配布を計画中



諸木 悦朗 議員

台風・津波等に対する防災対策は万全か

学者の推定では二、三十年以内に、日向灘地震が起こるという予測もされているが、志布志湾に面した本町の防災対策及び危機管理は万全か。

津波対策検討委員会を設置している

町長

大雨や台風が接近し、災害の発生が予測される際には、地域防災計画に基づき避難所を開設し、防災行政無線や消防団で広報や自主避難の呼びかけ

けを行い、人的被害の軽減を図っている。また、本年度津波対策検討委員会を設置し、今後の対策を検討している。



ゴミ等が打ち上げられている海岸

横瀬海岸の高潮被害等の現状を認識しているか

諸木議員

台風、特に高潮などが発生して河川の整備地区や海岸線にゴミ等が打ち上げられている横瀬海岸の状況を認識しているか。

台風災害等は現状を確認している

町長

台風災害については、現場の確認を行なっている。

海水の逆流に対する対策は

諸木議員

天神川が横瀬海岸に流れているが、河川の出口が塞がれて海水が逆流し、水田に流れ込んでいます。また、二年程前に植林した松が全て塩害で枯れている現状をどう認識しているか。

その都度排水対策を実施している

町長

天神川については、災害が発生して水が流れない状態になる度に重機等

を用いて排水が流れるように対策を講じている。横瀬海岸においての植林はずつと行っていく必要がある。



台風後の天神川

防災マップの作製状況と配布の時期は

諸木議員

防災マップの作製が予算化されているが、現在の作成状況と配布時期はいつ頃か。

早い段階に配布する

総務課長

現在、津波対策検討委員会を2回開催しており、委員会の意見等を踏まえて早い段階に、住民の意

避難路を整備する考えはないか

諸木議員

避難経路の整備を検討すると6月議会で答弁されたが、永吉地区高台に避難する経路は、道路幅員が狭いが、拡張工事をする考えはないか。

避難路の確保が重要であると認識している

町長

避難路の確保が生死を分ける重要なものと認識しているため、避難路に設定された道路の整備の用地についても検討していただくと考えており、それらの意見を参考に適切な措置を図りたい。

防災行政無線の整備をどのように進めるか

諸木議員

現在の防災行政無線は、風向きにより聞こえないという声をよく耳にする

が、この事を踏まえて、戸別受信機の設置は考えていないか。もし、戸別受信機を設置した場合有償か無償か。また、配布した受信機が故障した場合の対処はどうするか。

全世帯に戸別受信機の配置を検討している

町長

防災行政無線の操作卓や屋外拡声子局1局を平成17年に更新したが、その他の機器は導入後20年経過しているので、機器の再整備を計画している。本年度は設計等を委託し、来年度以降屋外拡声子局の位置の見直しや、全世帯に戸別受信機の配置を計画し、地域住民の安全・安心の確保を図りたい。戸別受信機は無償で設置する予定であるが、数が多くなることから複数年かかる可能性もある。